

しらかば

第76号

平成29年
(2017年)

3月

公益財団法人 北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
北海道対がん協会 Tel (011)748-5511 Fax (011)748-5512

<http://www.hokkaido-taigan.jp/>

乳がん啓発ピンクリボン活動『リボンの願い』 コカ・コーラ工場見学×乳がん検診バスツアー を初めて開催しました



当協会は、近年急増している乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを道内に広く伝えるため、北海道コカ・コーラボトリング株式会社（以下、北海道コカ・コーラ）と2010年に「ピンクリボン活動推進協定」を締結しました。以来、北海道コカ・コーラの展開するピンクリボン活動支援自動販売機を通して、自販機の設置先様から当協会へ売り上げの一部をご寄附いただき、それを基に、北海道コカ・コーラと協働で北海道において乳がんから女性を守るための啓発活動である『リボンの願い』事業を行っています。

今年度の取り組みとして、楽しみながら乳がんについて学べ、更に乳がん検診も受けられる「コカ・コーラ工場見学×乳がん検診バスツアー」を初めて開催しました。

昨今、芸能人の乳がん告白報道の度にマスコミでもいわれていますが、乳がんは女性のかかるがんの中でも一番多く、現在、全国では年間に約8万2千人が新たに罹患しており、年間約1万3千人が、北海道においても年間約750人の方が亡くなっています。罹患・死亡ともに年々増加の一途をたどっており、40歳代から50歳代の若い世代の死亡が多いのも特徴です。

乳がんは早期発見・早期診断・早期治療により高い治癒率が望めるにも関わらず、早期発見のための検診の受診率は、北海道は31.5%と全国平均よりも更に低い状況です。

今回のツアーは、乳がん検診が初めて、またはしばらく受けていない方を対象とし、工場見学で楽しんだ後に、乳がんに関する正しい知識や検診の大切さを伝えるとともに、乳がん検診（無料）を受けていただきました。

参加された方からは「受診のきっかけになった。」「定期的な検診の大切さがわかった。今後は受けようと思う。」「工場見学と一緒に楽しかった。」など大好評で、今後も継続していくこととなりました。平成29年度も11月頃の開催を予定していますので、ご興味のある方は、是非ご注目ください。

ピンクリボン活動支援自動販売機は、飲料を購入するごとにピンクリボン活動に参加できるばかりでなく、ピンクリボンの外装により乳がん検診の大切さを伝えるメッセージを発信しています。ピンクリボン活動支援自動販売機を見かけたら、乳がんのことを意識してください。

●開催日時：平成28年11月16日（水） 午前9：20～15：00

●スケジュール

集合	集合場所：テレビ塔北側 北大通（中央区大通西1丁目）
移動	対がん協会送迎バス
工場見学	北海道コカ・コーラボトリング株式会社 （清田区清田1条1丁目2-1）
休憩	
ミニ講話 ランチ	「乳がんについて知ろう」 （公財）北海道対がん協会 札幌がん検診センター検診第2課 主任保健師 張山朋恵
移動	対がん協会送迎バス
乳がん 検診	（公財）北海道対がん協会 札幌がん検診センター （東区北26条東14丁目1-15） 終了次第各自解散

●対象：満40歳以上の女性で、乳がん検診を受けたことがない方、もしくは3年以上乳がん検診を受けていない方（経過観察中を除く）で、工場見学と対がん協会での乳がん検診を受けられる方。

●参加料：無料 ※その他の検診も有料で受診できます。

●参加者：応募者の中から厳選な抽選の上、当選した20名の方



がん征圧月間行事

北海道対がん協会では、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、がん征圧月間行事を実施しています。

平成28年は、次のような日程で実施しました。

開催日	開催場所	事業名	内 容	参加数等
9月初旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,550枚
9/1（木）～ 30（金）	札幌市保健所・各区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
9/1（木）～ 30（金）	旭川市 買物公園	がん検診の音声広告	「こちらは旭川がん検診センターです。9月はがん征圧月間です。がん検診はお済みですか？「だいじょうぶ」思い込まないで、がん検診を受けましょう。9月はがん征圧月間です。」	1日10回 1回15秒
9/16（金）	・大通三越前 ・北24条駅前	街頭PR (街頭ティッシュ配り)	北海道健康をまもる地域団体連合会と連携し、街頭啓発を実施	2,200個
9/18（日）	釧路がん検診センター	日曜検診とがん予防普及パネル展	日曜検診（各種がん検診・特定健診）時にがん予防普及パネル展	599名
9/24（土）	イオン旭川西ショッピングセンター	がん予防普及パネル展	がん予防普及パネル展	130名
9/14（月）	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載	—
9/28（木）～ 30（金）	北海道庁1階 道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	延292名
10/14（金）	名寄市民文化センター	第48回 がん予防道民大会 ・がん予防功労者表彰 ・特別講演 ・健康講話	・特別講演 「胃の検査について知ろう」 ・健康講話 「笑い与健康」	650名

48thがん予防道民大会 in 名寄

第48回がん予防道民大会は、平成28年10月14日（金）、名寄市民文化センター（EN-RAYホール）において、北海道・名寄市・公益財団法人北海道健康づくり財団・公益財団法人北海道対がん協会の主催で開催され、650名の参加がありました。

この大会は、道民に対してがんに関する正しい知識の普及を図ることを目的に、例年、道内の市町村で開催しています。

がんによる死亡者数は年々増加の一途をたどっており、北海道においては、喫煙や食生活、運動などの生活習慣に大きな影響を受ける肺がん、大腸がんなどの死亡者数が増加していることに加え、近年では、胃がんや子宮頸がんは感染症であることが解明され、若年層からのがん予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図ることを目的に、開催地近隣の高校や大学へ参加を呼びかけています。第48回名寄大会は、名寄高校、士別翔雲高校、名寄市立大学の学生358名の参加がありました。

がん予防功労者表彰では、がんの正しい知識の普及啓発とがん検診の推進に功績のあった、滝川市、富良野市、白糠町、名寄市保健推進委員協議会（佐藤きみ子会長）の4団体に、当協会の長瀬会長より感謝状と記念品が授与されました。

特別講演では、当協会常務理事兼センター長の山口 由美子先生が、「胃の検査について知ろう」と題して、検診で行う胃の検査から精密検査まで、同じ病変の胃エックス線（バリウム）検査画像と胃内視鏡検査画像を比較しながら、それぞれのメリット・デメリットなどを分かりやすく解説し、検診の重要性を話されました。

健康講話では、「笑い与健康」と題し、札幌市在住の落語家 桂 枝光氏による落語が演じられました。枝光氏は、昭和53年に五代目 桂 文枝に入門し「桂 小つづ」の名前で「ヤングOH！ OH！」などのテレビ番組で活躍、アイドル的人気を博し、平成3年に北海道に移住してからも、道内のテレビ・ラジオで活躍されています。平成13年には「道民健康大使」に就任されました。落語で大いに笑って健康になればと、会場を盛り上げてくださいました。

大会最後に、次期開催地である恵庭市の原田市長が挨拶され、第48回名寄大会は盛会裏に終了しました。

第49回がん予防道民大会は、平成29年10月27日（金）、恵庭市民会館で開催予定です。



【第48回がん予防道民大会協賛団体】（順不同）

下記企業（団体）からの協賛金は、本大会の運営費の一部として活用させていただきました。誠にありがとうございました。

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| ・北海道キリンビバレッジ(株) | ・北海道コカ・コーラボトリング(株) |
| ・サントリービバレッジサービス(株) | ・第一生命保険(株) 旭川支社 |
| ・アフラック札幌総合支社（アメリカンファミリー生命保険会社） | ・北星信用金庫 |
| ・エーザイ(株) | ・(株)北洋銀行 |
| ・札幌臨検検査センター株式会社 | ・W i S M株式会社ムトウ |
| ・(株)日栄舎 | ・一般社団法人北海道医師会 |
| ・一般社団法人北海道歯科医師会 | ・一般社団法人北海道薬剤師会 |

平成28年度がん対策推進会議を開催しました

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に開催し、50団体から52名の参加が得られました。

北海道からは、北海道がん対策推進委員会のもとにがん検診専門部会が設置され、10/24に第1回の会議が開催されたとの報告がありました。その会議の中で、昨年2月のがん検診指針改正により、胃がん検診に胃内視鏡検査が導入されたことが議題にあがり、“胃内視鏡を実施する場合は指針に沿った厳重な精度管理を。また、本道の広域性を鑑み、当面の間は胃エックス線検査を40歳以上毎年実施するのが妥当。”という意見にまとまったとのことでした。また、今後は同部会が地域保健・健康増進事業報告に基づき、市町村のがん検診の精度管理状況（プロセス指標）を把握し、公表していく予定とのことでした。

当協会からは、次年度以降の検診計画と指針改正にかかる現況、精度管理状況について報告しました。前号のしらかばの表紙でも記事にしましたが、十分な精度管理下で行う胃エックス線（バリウム）検査は死亡率減少効果が科学的に証明されています。「バリウムは無効」という間違っただうわさが広まらないよう、参加者のみなさまに訴えました。

また、当協会の精度管理指標は、大腸がん検診の要精検率が高いことを除き、全ての検診で国の基準を満たしていることを報告しました。なお、大腸がん検診の要精検率についても、同検診の陽性反応適中度は国の基準を大きく超えて満たしているため、検査の精度の問題ではなく、検診の対象集団の有病率（検診受診者の年齢の高さ）によるものと考えています。

基調講演では、KKR札幌医療センターの磯部 宏院長に「北海道から肺がんの死亡をなくすために」と題してご講演いただきました。北海道は、男女とも肺がんによる死亡が1位です。喫煙率の高さが問題ですが、喫煙をしない女性の肺がんも増えていること、早期発見のためにはCT検診が有効であることについてわかりやすくお話しいただきました。

来年度の推進会議は、より多くの方にご参加いただけるよう、札幌・旭川・釧路・帯広の各センターで下記の日程で開催予定です。市町村のご担当者の方はもちろん、ご興味のある団体様にもご参加いただけます。お気軽にお問い合わせください。

平成28年10月28日（金） 13：00～15：30 ホテルポールスター 札幌	【がん対策推進会議】 ○ 報告事項 1 北海道からの報告 ・北海道のがん検診について 2 北海道対がん協会からの報告 ・平成29年度検診の実施計画について ・胃部エックス線検査の有効性について ・乳がん検診における視触診の現況について ・当協会の精度管理指標について ○ 講演 「北海道から肺がんの死亡をなくすために」 KKR札幌医療センター 院長 磯部 宏 氏
平成29年度 開催予定	札幌…平成29年10月13日（金） 帯広…平成29年10月16日（月） 旭川…平成29年10月18日（水） 釧路…平成29年10月24日（火）

平成28年度がん予防学級を 開催しました！

北海道対がん協会では、昭和46年より、がんに関する正しい知識の普及を目的として、開催地の市町村の協力を得て、がん予防学級を開催しています。

平成28年度は札幌・旭川・釧路の各がん検診センターと、帯広出張所で開催し、延198名の参加を得ました。

講演内容としては、各がんや検診の最新情報を盛り込むほか、最近ではがん患者さんによる体験談なども取り入れ、より記憶に残る講演を目指しております。

今年も秋口に開催予定です。近くなりましたら、当協会のホームページ等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

札幌	平成28年12月3日（土） 9時30分～12時10分 札幌がん検診センター 4階会議室 21名参加	第1講 「指針改定に伴う乳がん検診」 （公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター 放射線技術部放射線科長 黒蔵 邦夫 第2講 「大腸がんを経験して」 キャンサーサポート北海道 がんの語り手 井上 美智代 氏 第3講 「がんにかかわるお金のお話」 アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社） 札幌総合支社 次長 桜井 順治 氏
旭川	平成28年10月3日（月） 13：00～15：00 イオンモール旭川駅前 4階イオンホール 84名参加	第1講 「がんを知るーがん征圧を目指して」 （公財）北海道対がん協会 会長 長瀬 清 第2講 「歌とピアノにのせて ー子宮頸がんを知ってください」 ピアノボーカル あまの ともみ 氏
釧路	平成28年9月30日（金） 10：00～15：10 釧路がん検診センター 46名参加	第1講 「子宮がん最新情報」 （公財）北海道対がん協会 細胞診センター所長 藤田 博正 第2講 「乳がん最新情報」 釧路ろうさい病院 副院長 小笠原 和宏 氏 第3講 「がん検診最新情報」 （公財）北海道対がん協会釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦
帯広	平成28年11月30日（水） 11：00～15：20 帯広市保健福祉センター 3階視聴覚室 47名参加	第1講 「子宮がんについて」 （公財）北海道対がん協会 細胞診センター所長 藤田 博正 第2講 「乳がんについて」 帯広協会病院 院長 阿部 厚憲 氏 第3講 「内科のがん」 （公財）北海道対がん協会釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦

講演内容の一部ご紹介

（札幌）井上 美智代先生

ご主人を病気で亡くされ、自営されているピストロの経営と子育てを両立しなくてはならない場面で大腸がんを発病されたご経験についてお話いただきました。健康のありがたみと検診による早期発見・早期治療の大切さを改めて実感させられる講演でした。



（札幌）桜井 順治先生

がんが診断されてからは、数ある治療方法の中から自分が望むものを短期間で決めなければならず、先進医療や高額療養費制度など、あらかじめ知っているのと知らないのでは大違いであることをわかりやすくお話いただきました。



（旭川）あまの ともみ先生

25歳の時に受けた検診で子宮頸がんが判明、手術を受けられました。～北海道発！日本一周！～ハーレーダビッドソンで行く“子宮頸がんを知ってください”の旅”と銘打って、ピアノ弾き語りライブの傍らで、自らの体験談を交えて検診の大切さを広める活動を実施されています。今回もご自身の体験談を交えてトーク＆ライブを行っていただきました。



地元の小学生 施設見学

平成28年8月30日（火）
11：00～12：00
札幌市立元町北小学校
5年生児童 6名

当協会札幌がん検診センターは、札幌市東区に位置する地域に施設を構え、がん検診をはじめとする各種健康診断を行う検診専門機関です。

平成28年8月30日（火）、地元の札幌市立元町北小学校5年生児童6名が、施設見学に訪れました。

総合的な学習の時間で、校区の特色ある施設や商店等を調べ、そのよさや伝統などを広めるための学習で、児童自らが見学する施設を希望し、当札幌がん検診センターも見学の依頼を受けました。

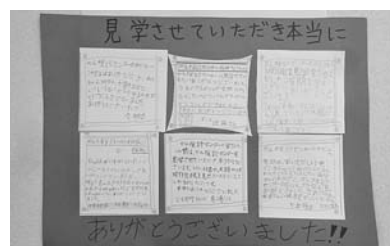
この見学活動は、児童だけで行うことにも力を入れ取り組まれており、予定時刻に児童のみ6名が、揃って「よろしくお願いします。」と元気に挨拶がありました。

1階の電話予約オペレーター室から見学し、検査室では実際に顕微鏡での細胞の観察も行いました。胃バリウム検査室や大腸カメラ検査室を回り、3階胃カメラ検査室では、山口センター長の画像の説明に、少し緊張しながらも真剣に見入っていました。

最後のインタビューでは、一生懸命にメモを取っていました。

後日、見学した児童達の感想とお礼をまとめたポスターが届けられました。このポスターは、当協会の事務所に掲示しています。

今回の施設見学での話を、他の児童や家族にお話して、がん検診の大切さが伝え広がることを願います。



CSRLレポート

CSR(corporate social responsibility)とは
収益を上げ配当を維持し、法令を遵守するだけでなく、人権に配慮した適正な雇用・労働条件、
消費者への適切な対応、環境問題への配慮、地域社会への貢献を行うなど、企業が市民として
果たすべき責任をいう。企業の社会的責任。

トランスコスモス株式会社 様に感謝状を贈呈しました

当協会では、2010年5月に北海道コカ・コーラボトリング株式会社と締結した“ピンクリボン運動の推進に関する協定”に基づき、「ピンクリボン活動支援自動販売機」の売上金の一部をご寄附いただき、それをもとに乳がん予防のための様々な啓発活動を行っています。

このたび、トランスコスモス株式会社様には、活動の趣旨にご賛同いただき、コンタクトセンター内に当自販機を5台も設置していただきました。このご厚情に対し、平成28年11月2日、同社を訪問し、当協会の白川専務理事より感謝状を贈呈いたしました。

トランスコスモス株式会社様のコンタクトセンター部門は、女性が多い職場です。同社デジタルマーケティング・EC・コンタクトセンター統括コンタクトセンターサービス北海道本部の松田本部長代理からは、「この自販機設置をきっかけとして、従業員へ“検診を受けなくては”という意識を喚起できれば。」とお話いただきました。

検診を受けない理由の上位に入るのは、「忙しい」、「なんとなく受けていない」という理由がほとんどです。もし、乳がんにかかってしまったら、10年は経過観察を行います。早期発見できれば、その分、治療期間や経過観察期間を短くでき、治癒を期待することもできます。乳がん検診を受けるのにかかる時間は、1時間程度です。乳がんにかかる方が急増している現状において、この1時間が人生を大きく左右するといっても過言ではないかもしれません。

当協会は、今後も企業様の行うCSR活動と連携して、がん予防のための普及啓発活動を行ってまいります。ご賛同いただける企業様を随時募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



♪住友生命30th全国縦断チャリティーコンサート♪

平成28年11月18日（金）19時～21時

札幌コンサートホールKitara（札幌市中央区中島公園1-15）

住友生命保険相互会社 札幌支社様より、尊いご寄附をいただきました

住友生命では1986年から、先駆的に全国縦断チャリティーコンサートを開催し、延べ941都市において1,019公演、総額3億円をも上回る募金を国内各地の福祉事業等へ寄附するほか、開発途上国での学校建設、東日本大震災被災地の学校へピアノを贈るプロジェクトを行いました。また、全国縦断チャリティーコンサート以外にも、様々なCSR活動に取り組んでいます。

住友生命主催のこのコンサートは全国で開催され、今年で30周年を迎えたことから、クラシックの大作作曲家たちが30歳前後に作曲した作品を、ストラディバリウス・デュランティにのせて、ヴァイオリニスト 千住 真理子さんが素敵な音色を披露してくださいました。

当協会は、がんに関する啓発コーナーを設置させていただき、実際に乳がん触診モデルに触れていただく等、来場の方々へ普及啓発を行いました。

当日の来場者は1,500名を超え、会場で住友生命の皆さんが、実際に募金箱を持って集められたチャリティー募金から、20万円ものご寄附をいただきました。〔当協会のほか、(公財)北海道盲導犬協会、(公財)プラン・インターナショナル・ジャパン、熊本地震義援金へ、寄贈されています。〕

このご厚情に対し、平成29年2月10日、同社を訪問し感謝状を贈呈いたしました。

当協会は、普及啓発・がん検診の受診率向上・検診での早期発見に努めており、頂戴した尊い寄附金は、がんに関する正しい知識を伝える啓発媒体の作成や検診事業の推進に役立てられます。



❖ 北海道がん対策基金 実施状況 ❖

❖ 北海道がん対策基金とは？

「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがんの克服とともにがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄附を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金状況

1月31日現在の累計募金状況は

13,886,163円

引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

募金額の内訳

一般寄附・募金箱

	件数	金額
個人	50件	4,302,692
企業・団体等	187件	7,434,678
自動販売機	45件	1,872,031
常設募金箱	11か所	118,268
臨時募金箱	17日間	158,494

企業・団体等の募金状況

企業（H28.9月～H29.1月）

日付	企業名	金額
9/27	アフラック道央アソシエーツ会事務局	129,300
10/7	(公財)北海道健康づくり財団	30,000
11/10	(有)アマノ自動車工業	10,000
11/29	(公財)北海道対がん協会	42,356
7～12月	北海道（部局等）	353,144

募金箱の募金状況

イベント設置募金箱（H28.9月～H29.1月）

日付	イベント名	金額
9/8	福島町健康フェスティバル実行委員会	8,001
10/3	北海道庁パネル展（道庁）	1,159
10/17	第48回がん予防道民大会（名寄市民文化センター）	23,899

新規 基金支援自動販売機設置先

設置年月	設置先	台数
H28.4	市立函館病院	1
H28.5	株式会社ほくやく・竹山ホールディングス	3
設置年月	設置先	台数
H28.9	北海道紋別保健所	1
H28.12	北海道キリンビバレッジ株式会社	1

設置年月	設置先	台数
H28.7	帯広協会病院	1
H28.7	一般社団法人北海道歯科医師会	1
H28.8	有限会社 富美正	1
H28.10	株式会社保険科学研究所	1
設置年月	設置先	台数
H28.10	サントリービバレッジサービス株式会社	2
H28.10	洞爺湖温泉病院	2
設置年月	設置先	台数
H28.11	株式会社ネオス	2
H28.11	公益財団法人北海道対がん協会	2
基金支援自動販売機累計台数		91

商品募金・募金箱・支援自動販売機設置先募集

北海道がん対策基金では、寄附金付き商品の企画販売や募金箱および支援自動販売機の設置にご協力いただける企業・事業所・店舗・病院などを募集しております。



また、イベント等の臨時的な募金箱設置先も募集しております。

募金箱は、幅12cm、奥行き9.7cm、高さ17.9cmの亚克力製です。募金箱の背面には、パンフレットを挿入することができます。募金箱のサイズ・材質等は変更となる場合がございます。

お問い合わせは事務局までお願いいたします。

お問い合わせ

募金箱・自動販売機設置について、その他のお問い合わせは事務局までお問い合わせください。

<事務局>

○公益財団法人 北海道対がん協会

TEL (011) 748-5511

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

がん対策・健康づくりグループ

TEL (011) 204-5117

アフラックアソシエイツ会様より 北海道がん対策基金へ ご寄付をいただきました



平成28年9月27日にアフラックアソシエイツ会北海道ブロック様より、尊いご寄付をいただきました。同会はアフラックの代理店が加入されている組織で、平成27年度にもいただいております二年連続となります。

会員の皆様からいただきましたご厚情に心より感謝申し上げます。



胃・肺併用 X線デジタル検診車 「しらかば205号」導入



公益財団法人北海道対がん協会では、老朽化した胃・肺がん併用検診車の更新整備を計画しておりましたが、この度、一般財団法人日本宝くじ協会の「平成28年度公益法人等が行う公益事業への助成」を受け、平成29年2月13日付、胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば205号」を整備し、札幌がん検診センターに配置いたしました。

これまで、胃・肺検診車「しらかば号」は、黄色をイメージカラーとしていましたが、平成27年に旭川に導入した204号に続き、緑の大地と青い空をイメージしたカラーリングに一新し、道内を巡回いたします。

検診で見つかるがんは約9割が早期がん。そのほとんどは適切な治療で救命することができます。定期的ながん検診をお受け下さい。

※各種がん検診の日程は、お住まいの市町村役場、保健センターでご確認できます。

事業名	平成28年度胃・肺がん併用検診車の整備補助事業	
整備内容	胃・肺併用X線デジタル検診車	1台
	胃X線検診システム	1式
	胸部X線検診システム	1式
助成金額	69,660,000円	
完了年月日	平成29年2月13日	